

(別紙)

令和2年度第1回置賜地域保健医療協議会 報告・協議事項全体を通じての御意見等

所属	委員名	御意見等	事務局からの回答
米沢市医師会	小林正義	申請を急ぎましょう。	
南陽市東置賜郡医師会	齋藤 潔	病床機能調整ワーキングはWEB会議でしたが、WEB方式のほうが情報を伝達する目的がメインの会議では有効かと思いました。書面よりもWEBの方が伝達には有効な方式と思います（便利です）。これからますます活用していただきたいと存じます。	今後も状況・目的に応じてWEB方式での開催も検討してまいります。
米沢市立病院	大串雅俊	新病院建設につき、重点支援区域に申請しますのでよろしく願いいたします。	
山形県看護協会置賜支部	片倉恵美子	置賜地域保健医療協議会等スケジュールにて2月以降で第7次保健医療計画の進捗管理となっておりますが、今年度、第7次保健医療計画の見直し予定と聞いておりますが、いつになるのでしょうか、教えていただければと思います。	本来であれば、今年度が第7次保健医療計画の中間見直し時期にあたっておりましたが、新型コロナウイルス感染症の国内における感染状況等を考慮し、来年度見直しを行う予定となっております。
山形県保険者協議会委員	佐藤昌司	2045年までの「日本の地域別将来推計人口」によると、置賜地域における今後の人口の推移は大幅減が見込まれており、中には40%を超える地域もあると推計される。今後の人口推計を踏まえると、地域において見込まれる病床数については、変化し続ける医療需要を見越したうえで検討の余地があると思われるため、将来のあるべき姿に向かって積極的な議論をお願いしたい。 「米沢市立病院・三友堂病院の再編・統合」について、国への重点支援区域申請は、それぞれの医療機関が掲げる病床数の削減、病床機能の転換に向けた動きが加速し、全体として158床の削減に繋がり、置賜地域が目指す病床数等の適正化が大きく進展することになるため、今回の申請は妥当であり必要なことだと考える。一方で、今回の2病院の再編・統合がなされてなお、機能ごとの病床数においては、高度急性期病床や回復期病床が依然不足し、急性期や慢性期病床が余剰となるなど、機能ごとの過不足が推測される。特に高度急性期の不足については医師や看護師の確保も必要となることから、外来医療計画を通じて医師等医療資源の確保に努めていただきたい。また、病床機能ごとには過不足があっても、全体の病床数としては過剰の状況であることも推測されるため、山形県の主導のもと、全体最適を目指した現在の医療資源の有効な活用についても議論を進めていただきたい。	引き続き、置賜地域保健医療協議会、病床機能調整ワーキングにおいて議論を進めてまいります。